

参考資料 研究成果の公表状況

## 1. 公共交通の利便性向上と利用促進に関する研究

- 1) 諸田恵士・塚田幸広・河野辰男:公共交通機関の利用促進,国総研アニュアルレポート 2005, pp. 42-45, 国土技術政策総合研究所, 2005. 3
- 2) 阪井清志: L R T計画導入ガイダンスについて, 全国都市交通計画担当者会議, 2005. 5
- 3) 阪井清志: 環境に優しい公共交通ーデータで見るフランスのL R Tー, 交通工学, Vol. 40-No. 4, pp. 51-59, 2005. 7
- 4) 阪井清志 (共著): まちづくりと一体となったL R T導入計画ガイダンス, (社) 日本交通計画協会, 2006. 11
- 5) 阪井清志: イギリス・フランス及び日本のトラムの現況と課題に関する分析, 日本都市計画学会第41回学術研究論文発表会, Vol. 41-No. 3, pp. 19-24, 2006. 11
- 6) 阪井清志: 欧州におけるL R Tの導入効果, 道路, No. 790, pp. 17-21, 2005. 12
- 7) 阪井清志: 欧米における集約型都市構造誘導のための制度事例, 国土交通省都市・地域整備局都市計画課主催「人口減少時代の都市計画のあり方講演会」第9回, 2007. 5
- 8) 中西賢也: 日本におけるトランジットモールの現状と課題, 土木計画学研究・講演集 vol. 35, CD-ROM, 2007. 6
- 9) 諸田恵士・野間真俊・井坪慎二・奥谷正: 筑波山における観光交通の特性把握に向けた調査と分析, 土木計画学研究・講演集 vol. 35, CD-ROM, 2007. 6
- 10) 阪井清志: ドイツのトラムトレイン-推進のための計画制度の仕組みとハードウェア開発-, 土木計画学研究・講演集, No. 36, CD-ROM, 2007. 6
- 11) 諸田恵士・野間真俊・奥谷正・南部浩之: 交通調査の高度化による観光交通の特性把握, 第27回日本道路会議論文集, CD-ROM(50036), 2007. 11
- 12) 阪井清志: ドイツのトラムトレイン-直通運転実現のための技術開発-, J R E A, Vol. 50-No. 12, pp. 43-47, 2007. 12
- 13) 阪井清志: トラムトレイン-地域の交通軸強化のための施策-, 新都市, Vol. 62-No. 3, 2008. 3
- 14) 中西賢也: トランジットモールの普及方策に関する考察, 第37回土木計画学研究発表会(春大会), 2008. 6

## 2. マルチモーダル物流体系に関する研究

- 1) 浜田誠也・河野辰男: 地下鉄を活用した新たな物流システムの可能性に関する研究, 第28回土木計画学研究発表会, CD-ROM, 2003. 11
- 2) 大西博文: 物流交通の諸問題とその取り組みの方向, 土木技術資料, VOL. 46 NO. 4, pp. 16-19, 2004. 4
- 3) 河野辰男・長谷川金二: 物流交通対策の現状と課題, 土木技術資料, VOL. 46 NO. 4, pp. 20-25, 2004. 4
- 4) 河野辰男・長谷川金二: 物流施設の整備計画プロセス, 土木技術資料, VOL. 46 NO. 4, pp. 26-31, 2004. 4
- 5) 励国権: 鉄道貨物輸送の改善策と効果, 土木技術資料, VOL. 46 NO. 4, pp. 32-37, 2004. 4
- 6) 浜田誠也・横須賀達博: 既存交通施設を活用した新たな物流システムの可能性, 土木技術資料, VOL. 46 NO. 4, pp. 38-43, 2004. 4
- 7) 河野辰男・塚田幸広: 物流対策としての交通空間の活用, IATSS Review, Vol. 30, No. 5, 2005.
- 8) R. Shibasaki, T. Watanabe, T. Kadono: An Economic Loss due to Bottlenecks for Domestic Automobile Transportation of International Maritime Container Cargos in Japan, PORTS 04, 2004. 5
- 9) 柴崎隆一・渡部富博・角野隆: 国際海上コンテナ貨物の国内自動車輸送における通行上の制約と経済損失に関する分析, 国土技術政策総合研究所研究報告, No. 18, 2004. 6
- 10) 柴崎隆一・渡部富博・角野隆: 国際海上コンテナの国内輸送ネットワークにおける運行上の制約に関する分析と解消効果の試算, 運輸政策研究, VOL. 7 NO. 4, pp. 15-26, 2005. 1

- 11) 柴崎隆一・山鹿知樹・角野隆・小島肇：国際海上コンテナの陸上輸送ネットワークと経路選択行動，土木計画学研究・講演集，31-76，2005.6
- 12) 柴崎隆一・角野隆・山鹿知樹：国際海上コンテナ用セミトレーラ連結車の時間帯別交通量と高速利用実態，土木学会年次学術講演会講演概要集，59，IV-382，2004.9
- 13) 柴崎隆一・山鹿知樹・角野隆・小島肇：臨港地区およびその背後圏における国際海上コンテナ用セミトレーラ連結車の通行実態に関する考察，土木計画学研究・講演集，30-354，2004.11
- 14) 柴崎隆一・角野隆・山鹿知樹・小島肇：国際海上コンテナ用セミトレーラ連結車の時間帯別交通量と高速利用率に関する実態調査およびその分析，国総研研究報告，No.19，2004.12
- 15) 柴崎隆一・角野隆：港湾地域および背後圏における国際海上コンテナ用セミトレーラ連結車の流動状況の推察，高速道路と自動車，2005.6
- 16) 山鹿知樹・柴崎隆一・渡部富博・平井洋次・角野隆：国際海上コンテナ貨物の国内背後流動におけるマルチモーダル輸送に関する分析，国総研資料，No.126，2003.12 及び 土木学会関東支部技術研究発表会，2004.3
- 17) 山鹿知樹・柴崎隆一・角野隆・小島肇：国際海上コンテナ貨物の国内流動におけるマルチモーダル輸送に関する分析，土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集，31，IV-1，2004.3
- 18) 小島肇・山鹿知樹・柴崎隆一・角野隆：国際海上コンテナ貨物の国内輸送に関する統計資料の比較分析，土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集，31，IV-2，2004.3
- 19) 山鹿知樹・柴崎隆一・角野隆・渡部富博：鉄道および船舶による国際海上コンテナ貨物の国内輸送特性に関する分析，日本沿岸域学会論文集，17(1)，pp.39-50，2004.9
- 20) 山鹿知樹・柴崎隆一・安間清：東アジア・北米間輸送を中心とした北米大陸における国際貨物の背後流動に関する分析，国土技術政策総合研究所資料，No.191，2004.9
- 21) 山鹿知樹・柴崎隆一・安間清：東アジア・北米間輸送を中心とした北米大陸における国際海上コンテナ貨物の背後流動に関する分析，土木学会年次学術講演会講演概要集，59，IV-381，2004.9
- 22) 柴崎隆一・角野隆・山鹿知樹・小島肇：国際海上コンテナの背後輸送に関する国際比較，土木計画学研究・講演集，30-353，2004.11
- 23) 山鹿知樹・柴崎隆一・角野隆：バルク系貨物を対象とした背後流動・輸送機関分担の分析と利用港湾/輸送機関選択モデルの構築，国総研資料，No.201，2004.12
- 24) 石倉智樹，丹生清輝：我が国の国際航空貨物輸送における課題と空港政策戦略，土木計画学研究・講演集，No.27，CD-ROM，2003.6
- 25) 石倉智樹，滝野義和：我が国の国際航空貨物輸送における経路選択要因分析，土木計画学研究・講演集，No.28，CD-ROM，2003.11
- 26) 石倉智樹・他：我が国の国際航空貨物輸送における現況と課題，国総研資料No.130，2003.12
- 27) 石倉智樹・滝野義和・杉村佳寿：国際航空貨物輸送における輸送経路選択要因の分析，国総研資料，No.174，2004.6
- 28) Tomoki ISHIKURA：Factors of Route Choice of International Air Cargo Transport：A Case Study of Japan，10<sup>th</sup> World Conference on Transport Research，CD-ROM，2004
- 29) 大西博文・他：特集・持続可能な交通，国総研アニュアルレポート2005，pp.41-73，国土技術政策総合研究所，2005.3
- 30) 塚田幸広・河野辰男：商慣行の改善と物流交通の効率化，国総研アニュアルレポート2005，pp.54-57，国土技術政策総合研究所，2005.3
- 31) 河野辰男・塚田幸広：商慣行の改善が貨物車交通に与える影響，土木学会論文集，No.807，pp67-76，2006.1
- 32) 商慣行と物流研究会：商慣行の改善と物流交通の効率化，ロジスティクスシステム，(社)日本ロジスティクスシステム協会，Vol.15，2006.1
- 33) 石倉智樹・石井正樹：国際航空貨物の品目特性と国内流動分析，国総研資料，No.287，2006.3
- 34) 商慣行と物流研究会：環境負荷低減とコスト低減を実現するための荷主企業と物流企業の連携，

- ロジスティクスシステム, (社) 日本ロジスティクスシステム協会, Vol. 15, 2006. April/May
- 35) 商慣行と物流研究会: 取引条件の見直しによる環境負荷とコストの改善, ロジスティクスシステム, (社) 日本ロジスティクスシステム協会, Vol. 16, 2007. April/May
- 36) 河野辰男: 新たな物流施策大綱への反映: 国総研アニュアルレポート 2006, 2006. 3
- 37) 柴崎隆一: 欧米における国際海上コンテナの背後輸送に関する一考察とわが国の輸送環境への示唆, 海運経済研究, Vol. 40, pp. 167-176, 2006. 10
- 38) 渡部富博: 国際海上コンテナ輸送におけるボトルネックに関する分析, 港湾空港技術講演会, 2006. 10
- 39) 柴崎隆一・渡部富博・越智大介, 韓国釜山港周辺における国際海上コンテナ用トレーラの通行実態とわが国に与える示唆, 国土技術政策総合研究所資料, No. 349, 2006. 11
- 40) 越智大介・杉山信太郎・柴崎隆一・渡部富博, 釜山港および周辺地域における国際海上コンテナのトラック輸送の実態分析, 土木学会年次学術講演会講演概要集, 61, IV, 2006. 9
- 41) 柴崎隆一・渡部富博・越智大介・杉山信太郎: 韓国釜山港との比較による我が国における国際海上コンテナ用車両の通行に関わる課題と示唆, 第 34 回土木計画学研究発表会, 2006. 12
- 42) T. WATANABE, R. SHIBASAKI, et al., An Analysis on Bottlenecks for Domestic Vehicular Transportation of International Maritime Container Cargos in Japanese Hinterland, The Fifth International Conference on City Logistics (CITY LOGISTICS 2007), 2007. 7
- 43) 柴崎隆一・劉明磊・中嶋宏直・渡部富博, 中国における 45 フィートコンテナの利用状況に関する考察, 土木学会年次学術講演会講演概要集, 62, IV, 2007. 9

### 3. マルチモーダル交通体系の評価に関する研究

- 1) 長谷川金二: 交通結節点の評価方法について ~移動負担感の定量的評価に関する一考察~, 第 32 回都市交通計画担当者会議, 2003. 5
- 2) 田中良寛・他, 交通結節点における移動負担感の評価手法に関する研究, 第 25 回日本道路会議, CD-ROM, 2003. 11
- 3) 江橋英治, 道路整備等による便益の簡易推計手法に関する研究, 第 28 回土木計画学研究・発表会, CD-ROM, 2003. 11
- 4) 阪井清志: 交通結節点の整備効果, 国総研アニュアルレポート 2005, 国土技術政策総合研究所, 2005. 3
- 5) マルチモーダル施策の評価指標や評価手法については平成 16 年度成果を、国総研のホームページ上に公表
- 6) 田中良寛・河野辰男・長谷川金二: 都市交通のサービスレベルの評価に関する調査, 第 59 回土木学会年次学術講演会講演概要集, CD-ROM, 2004. 9
- 7) 塚田幸広・諸田恵士・河野辰男: 都市交通サービスの評価方法, 国総研アニュアルレポート 2005, pp. 46-49, 国土技術政策総合研究所, 2005. 3
- 8) 諸田恵士・塚田幸広・河野辰男: 一般化時間による交通結節点の評価手法に関する研究, 第 25 回交通工学研究発表会, 2005. 11
- 9) 塚田幸広・他: 一般化時間による交通結節点の利便性評価手法 (評価マニュアル案), 国総研資料, No. 297, 2006. 2
- 10) 塚田幸広・他: 道路上の貨物流動状況の推計に関する研究, 第 33 回土木計画学研究発表会, 2006. 6
- 11) 河野辰男・奥谷正・柴崎隆一: A Study of a Network Analysis Model for Freight Demand, XXIII World Road Congress Paris, 2007. 9
- 12) 小林正憲・奥谷正・渡部富博: 道路上の貨物流動状況の評価に関する研究, 第 27 回日本道路会議論文集 CD, CD-ROM, 2007. 11
- 13) 阪井清志: フランスの L R T の制度的枠組みと整備効果について, 新都市, Vol. 59, No. 8, pp. 113-122, 2005. 8

- 14) 阪井清志：ドイツの都市内公共交通の制度的枠組みと自由化の動向について，新都市，Vol. 60，No. 2，pp. 96-110，2006. 2
- 15) 阪井清志：ドイツにおける運輸連合とゾーン運賃制度の仕組みについて，交通工学，Vol. 41，No. 2，pp. 56-64，2006. 3
- 16) 阪井清志：欧州における都市交通制度・施策と日本への応用について，全国都市交通計画担当者会議，2006. 5
- 17) 阪井清志：海外主要国の都市圏交通計画制度について，全国都市交通計画担当者会議，2007. 5
- 18) 阪井清志：アメリカ合衆国の都市内公共交通の制度的枠組みとTODの仕組みについて，新都市，Vol. 61-No. 6，pp. 45-61，
- 19) 阪井清志：先進諸国における都市内交通計画の比較に関する研究，土木計画学研究・講演集，No. 35，CD-ROM，2007. 6
- 20) 阪井清志：海外におけるパーソントリップ調査の実施状況とデータ活用の方向について，日本都市計画学会第42回学術研究論文発表会，Vol. 42-No. 3，pp. 559-564，2007. 11
- 21) 阪井清志：海外主要国の都市圏交通計画制度の比較に関する研究，土木計画学研究・論文集 Vol. 25（投稿予定），2009. 10